

機械学習/AIによる特許調査の 高度化で実践するスマート特許戦略

【LIVE配信】
【アーカイブ配信】

～特許・知財実務へのAI導入と具体的活用テクニック～

◆日時：2024年11月29日(金) 10:30～16:30

【アーカイブ配信：12/2～12/16(何度でも受講可能)】

◆会場：【WEB限定セミナー】※ご自宅や職場でご受講下さい。

◆受講料：1名につき55,000円(税込、資料付)

※会員登録(無料)をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。

- ・1名でお申込みされた場合、1名につき**49,500円**
- ・2名同時にお申し込みされた場合、**2人目は無料(2名で55,000円)**
- ・ライブ配信視聴、アーカイブ配信視聴いずれも受講料は同じです。

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

【講師】 アジア特許情報研究会／元花王(株) 知的財産部 技術情報戦略G 安藤 俊幸 氏

【講座趣旨・プログラム】※詳細内容は弊社HPでご確認下さい。

特許調査や特許実務における知的生産性の向上は、企業の知的財産戦略の鍵となります。本セミナーでは、機械学習やAI技術を効果的に活用してこれらの業務を高度化するための実践的なテクニックと事例を紹介いたします。自然言語処理による関連特許文献の自動抽出、特許分類の自動付与、特許クレームのマッピングなど、様々な機械学習アプローチを特許調査に適用する方法を解説します。さらに、要約自動生成や特許明細書読解・作成支援、質問応答システムなど、最新の生成AIモデルを活用した実用事例も取り上げます。また、実務での導入を見据えて、適切なデータ前処理、学習モデルの構築と評価、セキュリティ対策、人的監視とフィードバックといった実践的な注意点についても詳しく説明します。機械学習やAIを効果的に取り入れることで、特許調査業務を飛躍的に効率化し、質の高い特許ポートフォリオを構築する戦略的な指針が得られます。スマートな特許戦略を実現するための具体的な方策を習得できるセミナーとなっています。

1. はじめに

- 1.1 講師自己紹介
- 1.2 アジア特許情報研究会紹介

2. 特許調査と検索の基礎

3. 機械学習/AIによる特許調査の高度化

4. 商用AI特許調査ツールの活用事例

- 4.1 AI特許調査ツールへの要求性能
- 4.2 特許庁におけるAI活用動向
- 4.3 PatentfieldのAIセマンティック検索
- 4.4 PatentfieldのAI分類予測
- 4.5 Patentfieldの生成系AIを用いた読解支援機能
- 4.6 PatentSQUAREのAI検索・AI分類
- 4.7 Amplified.aiのAI検索
- 4.8 THE調査力AI(Deskbee5)のSDI調査事例
- 4.9 Summariaの読解支援AIアシスタント機能

5. 生成系AIの概要と特許調査における可能性

- 5.1 生成系AIの概要
- 5.2 OpenAIのChatGPT4 モデル：GPT-4o、GPT-4o mini、GPT-4Turbo、GPT-4、GPT-3.5
- 5.3 GoogleのGemini 1.5 Pro、Gemini 1.5 Flash モデル：Ultra、Pro、Nano
- 5.4 AnthropicのClaude3 モデル：Opus、Sonnet、Haiku、Claude3.5 Sonnet
- 5.5 要約や要点の自動生成
- 5.6 特許明細書の査読支援
- 5.7 特許明細書の自動作成支援
- 5.8 質問応答やクエリ生成

5.9 特許調査における生成AIの利用形態

5.10 AI特許調査ツールと生成系AIの連携

6. 実践的なAI活用と注意点

- 6.1 AI活用特許調査システムへの過剰な期待
- 6.2 特許調査への機械学習適応時の留意点
- 6.3 人とAIの役割分担
- 6.4 機械学習/AIの原理的な限界

7. オープンソースを用いた機械学習の特許調査への応用

- 7.1 特許調査のためのオープンソース(OSS)の基礎
- 7.2 特許調査における「OSSツール」と「商用ツール」の相互補完的使用
- 7.3 機械学習概要(分類、回帰、クラスタリング、次元圧縮)
- 7.4 単語・文書のクラスタリングによる動向調査への応用
- 7.5 文書ベクトルの次元圧縮による特許公報の俯瞰可視化
- 7.6 文書分類との組み合わせによるパテントマップの自動作成
- 7.7 テキストのEmbeddings

8. 特許実務へのAI利用の現状のまとめと将来展望

- 8.1 特許庁(JPO)における人工知能(AI)技術の活用動向
- 8.2 特許調査分野におけるAI技術の活用動向
- 8.3 国産大規模言語モデルの開発動向
- 8.4 知財DXにおけるAIの効果を引き出すための3要素

本セミナーは「Zoom」を使ったWEB配信セミナーとなります。Zoomを使ったWEB配信セミナー受講の手順

- 1) Zoomを使用されたことがない方は、こちら(https://zoom.us/download#client_4meeting)からミーティング用Zoomクライアントをダウンロードしてください。ブラウザ版でも受講可能です。
 - 2) セミナー前日までに必ず動作確認をお願いします。はじめかたについてはこちら(<https://www.rdsc.co.jp/files/instruction/zoom.pdf>)をご覧ください。
 - 3) 開催日直前にWEBセミナーへの招待メールをお送りいたします。セミナー開始10分前までにメールに記載されている視聴用URLよりご参加ください。
- ・セミナー資料は開催前日までに送りいたします。無断転載、二次利用や講義の録音、録画などの行為を固く禁じます。

『AI特許調査』セミナー申込書 ※ご希望の参加形式にチェックを入れて下さい⇒< LIVE アーカイブ >

会社・大学	
住所	〒
電話番号	FAX

お名前	所属	E-Mail
①		
②		

●Webセミナーの受講申込みについて●

必要事項をご明記の上、FAXでお申込み下さい。上記のLIVEかアーカイブにチェックを入れて下さい。弊社から受付完了のご連絡をいたしまして請求書をお送りいたします。

セミナーお申込み後、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席下さい。代理の方も見つからない場合、営業日(土日祝日を除く)で8日前まででしたらキャンセルをお受けします。

受講料の支払いに関してはHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>

会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。

Eメール 郵送